



かわち



頌春

河内町議会議員一同
河内町役場職員一同

'14年広報かわちバックナンバー

☆ 2014年の広報かわちを再現してみました。☆





河内町議会議長
篠田 英 一

誰もが希望の持てるバランスの とれた公平な町づくりを目指して



河内町長
雑賀 正 光

新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成27年の初春を、ご家族お揃いでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は大きな自然災害が多く発生した年でした。また、「アベノミクス」効果により日本経済は緩やかにではありますが、回復していくものと思われました。ところが一転、個人消費の回復が遅れ、企業の設備投資も低迷と景気は失速し、日本経済は後退局面に入った可能性もあると報道されました。これを受けて安倍首相は、推し進めてまいった経済政

策の信を問うべく衆議院を解散しました。

しかし、ソチオリンピックでの羽生結弦選手の金メダルと全米オープンテニスでの錦織圭選手の決勝進出、国際宇宙ステーションの船長に就任した若田光一さんの活躍、富岡製糸場の世界文化遺産登録、そして、青色LEDの発明・開発による三人の科学者のノーベル賞同時受賞と日本を元気づけ、私たちに勇気を与えてくれた明るい話題も多くありました。

「日本創世会議」が我が国の市区町村の約半数が最終的に消滅の可能性があると指摘したとおり、多くの自治体では、人口減少問題と少子化に伴っての小中学校の統廃合は大きな行政課題となっており、当町においても状況は同じですが、昨年は長い間の懸案事項でありました学校統合が大きく前進した年でした。学校統合と小中一貫教育について、いろいろな形で説明会、意見交換会を何度も開催してまいりました結果、町民の皆様の賛同を得ることができ、また、町議会においても、統合校建設に向けての基本設計費を可決していただきました。

またIC周辺の地元では、様々な企業立地や地域の活性化が期待されるところです。

8月には、西アフリカ諸国にエボラ出血熱の感染が拡大し、世界保健機構(WHO)は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しました。国内では、69年ぶりにデング熱の感染が発覚し、感染したと考えられている公園及び隣接する施設においては、利用者への注意喚起や立ち入り制限、蚊の調査・駆除等の対策が行われていました。

またIC周辺の地元では、様々な企業立地や地域の活性化が期待されるところです。

8月には、西アフリカ諸国にエボラ出血熱の感染が拡大し、世界保健機構(WHO)は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しました。国内では、69年ぶりにデング熱の感染が発覚し、感染したと考えられている公園及び隣接する施設においては、利用者への注意喚起や立ち入り制限、蚊の調査・駆除等の対策が行われていました。

11月に入ると衆議院解散の風が吹き始め、安倍首相は今年10月の消費税10%への引き上げを先送りする考えを表明し、経済政策「アベノミクス」の評価を国民に問うとして衆議院を解散、その結果、本県としては予定していた県議選とのダブル選挙になりました。

明るい話題では、ノーベル物理学賞に青色発光ダイオード(LED)を開発した赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏の3人が受賞されました。青色LEDの実用化で、すべての色の光をLEDで作ることが可能になり、工業製品としての応用範囲が劇的に広がることになりました。

またIC周辺の地元では、様々な企業立地や地域の活性化が期待されるところです。

8月には、西アフリカ諸国にエボラ出血熱の感染が拡大し、世界保健機構(WHO)は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言しました。国内では、69年ぶりにデング熱の感染が発覚し、感染したと考えられている公園及び隣接する施設においては、利用者への注意喚起や立ち入り制限、蚊の調査・駆除等の対策が行われていました。

本町においては、引き続き取り組みなければならぬ行政課題は山積しており、特に少子高齢化が年々進行し、65歳以上が3割を超える現状で、子育て支援対策の充実と若者の定住促進は急務となっております。また、以前より課題となっていた学校統合同題は、小中一貫教育の検討と併せ十分議論を重ね一日も早い学校教育のグラウンドデザイン構築に努めていただきますよう強く願うものであります。そして、農業問題では2014年産米の価格暴落を受け、政府が打ち出した生産調整廃止が米価下落の悪循環を招きかねないと懸念する声が上がっており、農業者所得の向上を掲げた政府の農政改革は、見直しを迫られそうな情勢であります。

「日本創世会議」が我が国の市区町村の約半数が最終的に消滅の可能性があると指摘したとおり、多くの自治体では、人口減少問題と少子化に伴っての小中学校の統廃合は大きな行政課題となっており、当町においても状況は同じですが、昨年は長い間の懸案事項でありました学校統合と小中一貫教育について、いろいろな形で説明会、意見交換会を何度も開催してまいりました結果、町民の皆様の賛同を得ることができ、また、町議会においても、統合校建設に向けての基本設計費を可決していただきました。

今年度は、群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。河内町としても、町民が一つの家族としてこの一年を健やかに暮らしていきますよう、努力してまいります。

皆様にとりまして本年が素晴らしい年でありますとともに、この一年をご健康で過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。